

楽しく歩こう会【桑名散策】

11期健康 真野 昭二



六華苑

移動性高気圧に覆われた五月晴れに恵まれ、昭和鯨城会の旗のもと、総勢29名（男15名、女14名）全員軽装にて、5月20日（水）近鉄名駅を出発しました。

桑名駅下車後、海蔵寺へ、境内には宝暦3年（1753）木曾三川で毎年の大氾濫に手を焼いた幕府が、島津家に約2呎にわたる長堤の治水工事を命じたが、難工事で薩摩藩士が多数の犠牲を出し、又工費増加の両責任を感じた工事奉行、平田鞠負（ユキエ）は現在の養老町大巻の役館で割腹自殺した。（24義士のお墓もありました）

揖斐川の住吉浦より六華苑（旧諸戸邸）へ、明治44年着工、大正2年に完成した敷地18,491,42平方メートル、建築1,331,65平方メートルの洋館と和風建築の重要文化財で、明治、大正の文化遺産を感じました。

住吉神社の東南、川口水門の石垣で囲まれた付近は江戸時代、熱田の宮から桑名間の28キロメートルにおよぶ海路の発着所を七里の渡しと呼ばれるようになりました。伊勢神宮の一の鳥居が、往時をわずかに偲ばせていた。

青空、木の下で昼食を取り、九華公園（桑名城本丸跡）へ、桜、ツツジ、花菖蒲が植えられ市民の憩いの場となっていました。次に公園の西、旧東海道筋に位置する桑名神社と中臣神社を合祀した桑名宗社へ、土地の人々には春日神社と呼ばれています。拝殿は近年の建築だが、社前にそびえる大鳥居は寛文七年（1667）に建立とのこと、参拝をして寺町商店街を横目に見て、お互いの協力により全員無事に楽しく、元気よく完歩でき、駅まで戻り解散しました。

花菖蒲鑑賞 & 昼食会



11期 光崎 俊男

98年度第1回の研修会が、6月10日(水)花菖蒲鑑賞と新会員の歓迎会に決まり梅雨入りのうっとうしい日が続く中、実施されました。当日は雨も上がり傘もいらずよき日になり助かりました。

鶴舞公園の花菖蒲苑の中程にある、おずまや、が集合場所となり参加者は何と49名もあり、幹事として大変嬉しく思っております。

今年は気候の都合で花菖蒲の開花が10日程早かったため、殆どの花が散り落ちており鑑賞はできませんでした。

予め予想はしていましたので名古屋花菖蒲会々長 中島 武美先生に花菖蒲に関するお話しをお願いしてあり、その講義を受けました。

★性質 ★植栽適期 ★用土 ★植え方 ★施肥 ★ふやし方

★植え替え ★病害虫 ★花菖蒲とアヤメ、カキツバタの違い等、の説明をうけ、大変参考になりました。

すぐ傍らで行われていた、花菖蒲展に行き鉢植えの花菖蒲を鑑賞し、そこでまた品種とか、作り方の説明を受けました。

次の会場ツルマイコミュニティセンターへ移動し、食事前に8期文化の柴田 武様の特別講和『お賽銭』を拝聴する。

(大要) ★日本民族の習慣(文化) ★賽銭の歴史と意味

★何故お賽銭を上げるのでしょうか ★賽銭の金額

★賽銭の上げ方 ★お賽銭の行くえ ★考え方

等、お賽銭について、とても分かりやすく、また面白おかしくお話しをされ、その和術に感心しました。

講話の後、新入会員の歓迎を兼ねた昼食会が行われ、新旧会員の皆様方が午後2時頃まで楽しく歓談する事ができました。 以上

予 告

第2回 研修会 10月28日(案)

リニアモーターカー試乗会

訪問先=中部HSS T開発株式会社

名鉄「大江」駅隣り

懇談会=金山「ワシントンホテル」内

10F「ガスライト」(会費2100円)

※詳細は別途、手渡し回覧にて連絡します。

募 集

グランドゴルフ

対外親善試合(案)雨天延期

日 時=10月23日(金) 10:00~11:30

場 所=本郷公園(町役本郷駅から徒歩約8分)

足はマイカーにての送迎を予定しています。

相 手=名東鯉城会(鯉友会)

※参加希望者は担当委員:

服部☎751-1352 光崎☎741-3590

または日比☎852-5883まで 締め切り=10月10日

健康美 (含第2回楽しく歩こう会の感想)

11期 武藤 繁夫

本年3月第11期生活学科を卒業しまして、昭和鯨城会に入会させていただきました。学園ではクラブ『歩いて知ろう会』に所属して居りました。その関係かと思いますが『楽しく歩こう会』の運営委員に選任されました。当会員のため、自分のためにも頑張ってゆくつもりであります。

なんと言っても健康が第一で、道具もなくて気兼ねすることなく歩くことではないか。近年自動車は増加の一途をたどり多くの人々が通勤、レジャー、買物等日常生活には欠さず自動車を利用することが多くなっている、我々も大同小異である。そのためか歩くことがだんだんと少なくなり体力が低下していることは紛れもない事実であります。厚生省の公表やある大学の研究発表で高血圧予防にも1日30分程度の速歩きをしようと記事に載ったこともあります。健康の出発点は歩くことです。

此の度『第2回楽しく歩こう会』は6月17日(水)午後1時地下鉄平針駅集合、秋葉山農業センター散策コースを実施致しました。

『秀伝寺』 曹洞宗明応2年(1498)僧宗栄の創建、文禄元年の冬に消失して廃寺となった。その後徳川家康の命により、日進村龍谷寺から満嶺徳充和尚を招いて慶長17年(1612)再興された。

『秋葉山慈眼寺』 永禄3年織田信長が桶狭間の合戦の折、この山に祈願して勝利を得たので三尺坊の像を奉納した神仏混合のお寺であります。

『忠魂碑』 明治の戦争に従軍した人々の忠魂碑、昭和の戦争で戦没者を祀った顕彰台などがあります。毎年4月に慰霊祭が行われている。

『針名神社』 第6等級の参道の永い立派な神社であります。尾治(張)の針名根連の命を祀る神社である。延喜年間(900年)作成の『延喜神名帖』に従三位針名天神と記載されている。

『農業センター』 本市の農業の振興を図るため昭和40年に開設された、農業指導・研究指導を行うと共に花・野菜の栽培等市民が自然に親しむことの出来る憩いの場所となって居ります。以上楽しく散策してまいりました。

【健康は自分のもの、自分なりに作るもの】

昭和区・区民まつりに花

11期 後藤林造



まだ梅雨明け発表のない7月25日(土)鶴舞公園一帯で『昭和区区民まつり』が開催された。昭和鯨城会はふれあいゾーンのグリーンコーナーを受け持ち、花の苗のチャリティ・バザーを行った。

この日に合わせて、土作りから始まり種蒔き、移植、株分けなど細心の努力によって見事に育成された600株の苗。

鯨城会の花苗市

噴水塔の前に設置されたテント店の中に日々草、松葉ぼたん、マリーゴールド、折鶴らん、蝦蛄場サボテン、アスター等ずらりと並べ、草花の説明と売上金は全額を社会福祉に寄付すると店頭に掲げた。

日比会長始め10期、11期の役員全員がオレンジ色のまつりスタッフのTシャツを着用し、若返った思いで店先に訪れる老若男女に話しかけ、質問に応じた。

鯨城会の多くの方々も立ち寄って、暖かい励ましの言葉と協力を頂いた。

夏の夜のライトアップに浮かび上がる噴水塔と公会堂が幻想的に見え始めた8時30分過ぎ、すべての苗はなくなり、成就感のうちに後片付けにはいった。総売上は43,218円であった。

なお、草花の苗の育成のほとんどを受けもたれた10期園芸の服部・飯田両氏のご苦勞に深い敬意と感謝を表します。以上

グランド・ゴルフ

グランド・ゴルフ成績表 (5月27日~8月26日)

月日	参加人数	ベストスコア	ホールインワン
5/27	23名	長戸 俊郎 22/15=37	長戸俊郎(2回)、市野ユキ、伊藤秀雄 伊藤晴義、橋本博行
6/24	12名	桜井 静 27/18=45	桜井 静
7/1	17名	今井孝四郎 13/22=35	今井孝四郎(2回)、浅野鎌三、桜井静 武藤紫夫
7/15	18名	今井孝四郎 22/21=43	後藤林造、柴田 武、日比昭満
7/29	22名	橋本 博行 12/24=36	橋本博行(3回)、伊藤弘、今井孝四郎 須崎俊子、山本きぬ子
8/5	18名	伊藤秀雄 24/19=43	伊藤秀雄、片岡五郎、日比昭満
8/26	17名	桜井 静 18/23=41	桜井 静、片岡五郎、後藤林造

第16回 昭和区の福祉まつり



土鈴・陶磁器のチャリティ販売



鯨城会による日本舞踊『古城』

ばれチャリティ売上3万2千余円になりました。ライトハウス、クリエイト川名さんはじめご協力ご支援いただいた方々有難うございました。

ステージでは日本舞踊『古城』須崎俊子氏、バックコーラス橋本、伊藤（光）、山本（き）、日比、服部、飯田、光崎、真野の諸氏8名で大いにもりあがりました。柴田元会長の昭和鯨城会のPRも大変よかったです。今年始めてステージ行事に参画することにより益々地域社会に溶け込むことができ大変有意義であった。来年も又頑張りましょう。

以上

11期 近藤 末子
8月30日（日）『第16回昭和区の福祉まつりが』昭和区役所において開催されました。最初は18団体であったのが今年には44団体が参加し、私達昭和鯨城会もそのなかの1グループとして大いに活躍致しました。広江、岩田、市野氏のご指導のもと、ライトハウス、クリエイト川名にて会員有志が土鈴つくりにはげまれ90個を完成、昨年の残と合わせ販売しました。100円寄付の上絵付を子供さん達が楽しみ持ち帰りいただいた。又陶芸学科、陶芸クラブ出身の方々がチャリティバザールに出品していただいた花器、抹茶茶碗など、土鈴（約80個）

とともに皆さんに大いによるこ

俳句【Ⅱの1】

2期文化 鬼頭 秀三

落し文歩は遅々なれど血は若し

鬼百合や頬欠け肩削げ石佛

さぎ草の水平に皆水平に

夕顔のゆかたの頬を見つめけり

吾亦紅されど黒しと蝶は言う

呼びりんや小でまりのぞく大きな門

ほ、蛍呆けるな父のよわい越す

紫陽花や趣味の暮しは根なし草

絵も花を匂も花ばかり百日紅

テレパシイ巨木を包む苔の花

昭和鯨城会：行事予定

10月 7日(水)	グランドゴルフ	11月25日(水)	グランドゴルフ
10日(土)	区役所に隣 歩こう会	12月 2日(水)	グランドゴルフ
21日(水)	グランドゴルフ	9日(水)	楽しく歩こう会
28日(水)	研修会(第2回)	16日(水)	グランドゴルフ
11月 4日(水)	グランドゴルフ		
10日(火)	役員会(第3会議)		
18日(水)	楽しく歩こう会		

一里塚（中山道）

7期生活 伊藤 晴義

平成6年8月8日歩いて知ろう会の行事に参加して、恵那から竹並まで中山道を歩いた。当日は、三五度を越す極暑であったが、この間に二ヶ所一里塚がほぼ完全な形で保存されていた。

大井宿（江戸から46番目の宿場）内を通る中山道は、昔どおりの道幅で、大井宿の特徴である六ヶ所の枅形も残っていた。

根津神社、上宿の石仏群を見て大井宿本陣、鋸歯の様に建てられた家屋の町並み、長屋門、市神神社（昔、煙草市が開かれていた）を廻って大井橋を渡ると、熊崎新三郎事件のあった本酒屋が昔日の面影を残していた。

☆ 本酒屋

本酒屋はかつて野井村の庄屋を勤めていた。文久元年(1861)和宮降嫁に際して岩村藩の代官は野井村に対して過重な負担を要求した。野井村ではやむなくこの要求を受け入れたが、本百姓熊崎新三郎は、これが先例になつては困ると考え、和宮の行列通過後、当家にいた代官に切りかかった。代官は事なきを得たが、後に岩村藩ではこの事件の裁判があり、野井村の要求が認められ、代官は罷免された。西行硯水を過ぎて踏切を渡ると、昔ながらの中山道、十三峠の始まりである。

西行塚〔岐阜県の文化財（史跡）に指定〕を過ぎると視界の広い場所にてた。ここに楨ヶ根一里塚がほぼ完全な姿で残っていた。

☆ 楨ヶ根一里塚（江戸から88番目）

普通一里塚には榎が植えられたのに、ここは松の木である。また、この一里塚は、北塚と南塚が約十度斜めに離れて植えられている珍しい一里塚であった。〔岐阜県の文化財（史跡）に指定〕

更に、首なし地藏、下座切場後、みだれ坂、みだれ橋を渡ると、旅行者を守ると言われる妻神（塞神）と彫られた石が久須見村と竹折村の境に立っていた。

☆ 紅坂一里塚（江戸から89番目）があり共に榎が植えられていた。

この一里塚も岐阜県指定の文化財である。

この街道には、藤村高札場も復元されていて、火伏札（放火犯の取り締まりなど）切支丹宗門札（キリスト教禁止）の二枚が提示されていた。

僅か一日の工程でしたが昔ながらの中山道を歩き、数多くの歴史を学ぶ有意義な歩こう会でした。

武並駅に着いて飲んだビールの旨かったことは、いまでも忘れることは出来ません。

お詫びと訂正

総会席上お渡ししました『手渡し名簿』のうち吹上学区② 8文 浅野謙三様は浅野謙三様の誤りでした。お詫び申し上げますと共に皆様の名簿をご訂正下さい。